

東京福井県人会規約抜萃

- 第5条 本会はその目的を達するため下記の事業を行なう。
1. 懇親会その他の集会の開催
 2. 会員及び家族の結婚の紹介
 3. 会員名簿及び機関紙の発行
 4. 郷土訪問、観光の斡旋
 5. その他必要と認められる事項



東京福井県人会

発行責任者 理事長 鎌倉 安一
 東京都千代田区平河町2-6-3
 (都道府県会館別館8階)
 福井県 東京事務所内
 電話直通 03 (264) 0454 番
 振替口座 東京8-180487 番
 印刷 河和田屋印刷(株)



創立90周年を祝して

知事 栗田幸雄

東京福井県人会におかれましては、本年創立九十周年を迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。

さて、県では十二年余りに迫った二十一世紀に向けて県民が希望と誇りを感じることができ

東京福井県人会におかれましては、本年創立九十周年を迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。

県政推進に格別の御理解と御支援を賜っておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

さて、県では十二年余りに迫った二十一世紀に向けて県民が希望と誇りを感じることができ

県政推進に格別の御理解と御支援を賜っておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

再び県人会に望む

会長 松平永芳



私は、この度のソウル五輪に付ては、何も識らないが、二十四年前の東京大会の際、我が組織委員会の裏方を果した陸上自衛隊オリンピック支援団の司令部で、競技担当幕僚を務め、準備、実行、後始末と約一年半

私は、高が同県人の会合だが、私には、開会時刻は東京大会並みに厳守して欲しいと思ふ。然し、大企業の株主総会ではないのだから、規則だ、慣習などと言はず、予算・決算・監査報告等は受付済みの書類で承認を乞ひ、長寿、叙勲者の祝賀、若い新人会員の推薦者による紹介、自己紹介等を座の乱れぬ静かな内に済ませ、長寿社会化の実情に配慮し、老若隔意なき和気藹々たる県人会になって欲しいと望んで已まない。

私は、この度のソウル五輪に付ては、何も識らないが、二十四年前の東京大会の際、我が組織委員会の裏方を果した陸上自衛隊オリンピック支援団の司令部で、競技担当幕僚を務め、準備、実行、後始末と約一年半

私は、高が同県人の会合だが、私には、開会時刻は東京大会並みに厳守して欲しいと思ふ。然し、大企業の株主総会ではないのだから、規則だ、慣習などと言はず、予算・決算・監査報告等は受付済みの書類で承認を乞ひ、長寿、叙勲者の祝賀、若い新人会員の推薦者による紹介、自己紹介等を座の乱れぬ静かな内に済ませ、長寿社会化の実情に配慮し、老若隔意なき和気藹々たる県人会になって欲しいと望んで已まない。

お祝のこぼれ

武生市長 笠原 武

じたものであります。故郷への熱いまなざしを、郷土のすばらしい発展を願うお心は、いつの時代も不変であると思ひます。わが武生市は、電子関連のハイテク産業の日覚ましい躍進とともに、伝統産業、地場産業の益々の発展を期しており、本市四十周年を迎え、更に二十一世紀に向かって歴史と文化、伝統の重みを継承し、丹南地域の風格ある中核都市として全力で邁進いたす所存でございます。終わりに、皆様のおい変らぬご支援ご協力をお願い申し上げます。貴会のご発展と会員各位のご多幸ご活躍を祈念し、ご挨拶いたします。



創立九十年を迎えるに当り

理事長 鎌倉 安一

東京に福井県人会が創立された本年九十年になりました。この機会に会創立に盡力された先賢のご苦勞の一端を記録などに基づきご紹介致し度いと存じます。この会は当初福井県と名づけられ、東京に誕生したのは明治三十一年であります。

立されたのです。その頃の会合は伝へ聞く所では春秋の総会など家族づれで集まり、なごやかなものであったようです。むろん当時の会員数は在京の学生を加えても総勢百名足らずだったと聞いております。

<p>衆議院議員 福田 一 〒100 東京都千代田区永田町二二二一 衆議院第一議員会館五二九号室 電話(〇三)五〇八一七二五九</p>	<p>衆議院議員 平泉 渉 〒100 東京都千代田区永田町二二二一 衆議院第一議員会館三〇九号室 電話(〇三)五〇八一七三〇九</p>	<p>衆議院議員 牧野 隆守 〒100 東京都千代田区永田町二二二一 衆議院第一議員会館四〇九号室 電話(〇三)五〇八一七九〇一</p>	<p>衆議院議員 辻 一彦 〒100 東京都千代田区永田町二二二一 衆議院第一議員会館六四〇号室 電話(〇三)五〇八一七一一〇</p>	<p>衆議院議員 熊谷 太三郎 〒100 東京都千代田区永田町二二二一 衆議院会館 四二四号室 電話(〇三)五〇八一八四二四</p>	<p>参議院議員 山内 一郎 〒100 東京都千代田区永田町二二二一 参議院会館 七〇一号室 電話(〇三)五〇八一八七〇一</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

結成90年を飾る 盛大な祝典

昭和63年春季総会開催

本年度の春季総会は、五月二十一日盛大に開かれた。総会ではまず、一分間の黙とうで物故者のめい福を祈つた後、鎌倉安一理事長があいさつ。福井県からかけつけた県の大権一男出納長が、誕生後一年の栗田県政についての報告今後とも福井の発展のために会員の方々のご支援をお願いしたいと述べた。前年度の事業報告と決算、本年度の予算案を承認した後、役員改選を行い、副理事長を勤めてきた近藤勝氏（小松川工業社長）佐野きく枝さん（神田外



東京福井県人会総会

特別寄稿

躍進「福井」へ パワー全開！

林 哲夫（敦賀市在住）

「守ろう自然、育てよう人材、創ろう産業」二十一世紀を展望して世界に開かれた福井を指すこの県政の一大スローガンは、県民の熱い期待と注目のなかで、高度情報化、ハイテク化、国際化へと前進する福井の意欲と活力を宣言する意味に於いて、将来像を時代の感性で響く集約している。

待望の北陸自動車道の全線開通達成で、関越、名神・東名高速度の三大都市圏へ急接近し、北陸新幹線、空路実現への期待をふくませながら、北陸各県とも、日本海時代の幕開け、北陸の夜明け到来の大きい希望にわいている。

多年にわたって裏日本の特徴とされた雪と灰色の空の暗い印象も、交通体系拡充による波及効果で、モノ・ヒト・情報の迅速な交流が活発化するにつれ、イメージチェンジが期待される。「北陸浮上元年」の転機に際しては、今日、県民の果すべき役割、使命に心しての対応が望まれる。かつて福井市は、雑誌「フットワーク」の調査で健康都市全国一の声を集め、知的でリッチ・アダルトな街と話題になり、意気大に上げた記憶が今も鮮やか。また、県別民力度比較で

本年度の春季総会は、五月二十一日盛大に開かれた。総会ではまず、一分間の黙とうで物故者のめい福を祈つた後、新しい副理事長は、菊池智（福井新聞取締役）吉岡三和（クリステル工業会長）山之内三紀子さん（弁護士）の三氏。県人会は本年九十周年を迎えるため秋には盛大な記念式典と、会報の発行等が本年度の大きな事業となつていく。

その後、松崎芳春氏（前日経連専務理事、小浜市出身）が「四十年周期」と題して特別講演を行った。

の、長い歴史と伝統に築かれた豊かな地盤を支えとした保守性と、小県特有の日和見の消極性もあつてか、大量宣伝敬遠の傾向にあり、PR不足が指摘されている。宣伝下手は全権分野に及び、押し負けから主導権の確保が賞求、後援を拜する痛恨さを過去幾度か経験し、時に乗り越えられた弱さの断面が歴史にも語り継がれている。

かかる歴史的な事情経過を踏まえ、今では守りから攻めへのポリシーへ転換を大胆に実践する。機運が県内全域に高まつており、新世紀を目前にエポックを画する福井の心意気が脈々と躍る故郷の風景です。

関西、中京圏をスプリングボードに福井の躍進は、首都圏に照準を合わせて進行中で、産業界では首都圏を拠点に販売網の構築を企業のイメージアップと共に積極的に行進中であり、また観光事業面でもユニークな広域キャンペーンを展開し、日域のなかで福井の顔の光込みにも懸命です。

以上のような事情背景から、東京福井県人会として故郷の、首都圏戦略作戦に呼応して、支援の輪を広げて頂くことをお願いすると共に、これを機会に結束と交流を深め、首都を舞台に福井のイメージアップ、宣伝普及に一層の力を賜りたいと切望するものです。

栄光の軌跡に描かれた歴史香の故郷への誇りと自信を県人会

提案

福井県人会館の 建設を提案

副理事長 林 健彦
(建築家 織田町)

首都圏に住む福井県出身者は約十万人と推定されるが、県人会に加入しているのは約千人と極めて少ないのは大変残念である。明治三十一年に発足し、本年九十周年を迎える県人会にも着実に、「世代交代」の波が派生している事は大変興味深い。これは、昭和五十八年に若手会員有志による青年部の結成であり、「青年の志」を持つ人は、今年令の制限もなく誰でも自由に参加ができる。これまで、研修会、懇親会、ゴルフコンペ等開催し、県内にも嶺北、嶺南支部

が設けられ、時折県内の各業界の人々とも交流が続いている。私はかねてから、在京県人が「福井弁」で気軽に話せる「サロン」・「たまり場」・福井県人会館を建設し、会員相互と福井人との交流の拠点にしたいと考へ、具体的には、東京港区の福井青山荘の整備又は建てかえを提案してきた。現在青山荘の利用率は50%と聞いている。この土地の近辺には、「スパイラルビル」など文化情報の発信基地が位置している。

皇居前の英国大使館脇のふく

おか会館は、県事務所、県人会事務局、ホテル（運営委託）、店舗などで構成され、福岡県民の「東京の拠点」という印象が強い。島根県も又、土地信託の方式によつて、青山の県有地にビルを建設している。

福井と東京更に世界の各国との情報の受発信と交流を強力に進める為には、この施設に、イベントホールを設け、講演会、県観光物産展、郷土芸能や陶芸家の陶芸展、竹人形展や、和紙、刃物展等を行ったり、郷土料理店や県内各企業の出張所が入居してもよからう。

二十一世紀のふもと福井と東京福井県人会の飛躍的な発展を心から望み、ささやかな提案の実現を関係者各位に強く訴えたい。私も微力ながら実現の為に努力をしたい。

東京福井県人会の いや栄を祈って

副理事長 菊池 智
(福井新聞社取締役)

東京福井県人会が創立以来九十年を迎えた。本当におめでたいことである。一口に九十年、と言えば、誠に永くもあり、過ぎ去つてしまつた一瞬の時のようにも感じられる。「人生老いの切符を領収書と間違つて捨ててく、学成り難し」などと深刻に考へる程ではなくとも、人それぞれに過去への感慨は異なるであらう。

だが、東京で県人会が生れた時代背景を、今振り返つて考へてみると、恵まれた情報社会の中でふるりの話題を聞き、僅かな時間で往来できる今日の通信の速いは、想像するに余りあるものがあつたであらう。そして県

人會に出て来て交した福井弁の訛りの懐かしさ、温かさは、また格別であつたかも知れない。

さて、それから九十年。歴代会長はじめ各理事・事務局の皆さん隆盛の一途を辿つていくことは本当に喜ばしい。とくに若い人達の参加が進んでいることはこれからの会のあり方を示すものとみられ、今後一層力を入れていただきたい。

ところで九十年前の福井はというと、交通面では今の北陸線が東海道線の支線として設けられ、敦賀―森田（福井市）へと延びて福井駅舎もできて、列車が走つたのは明治二十九年（一八九六年）七月十五日のことです。初めて列車に乗つた人は、切符を領収書と間違つて捨ててく、学成り難し、などと深刻に考へる程ではなくとも、人それぞれに過去への感慨は異なるであらう。

だが、東京で県人会が生れた時代背景を、今振り返つて考へてみると、恵まれた情報社会の中でふるりの話題を聞き、僅かな時間で往来できる今日の通信の速いは、想像するに余りあるものがあつたであらう。そして県

県人会に望む

西尾 量恵（真宗大谷派福成寺
台東区池之端住職）

私が東京に在任する様になつて七年、当初方角も地名もわからず、人に尋ねても不親切で迷つた事も多々あつた。

もし私がだれ一人として話す相手がいなかったら、本当に挫けていたかも知れない。こんな事を思うと、田舎から出て来て孤独に耐えられず、そうかといふに帰れず、一人で淋しく行き場のない思いで生活している人達が東京にはいかに多いことか。

確かに都会で基盤の出来た者同志が集まり、語らひ、情報を交換することも必要である。しかし、都会という中であつて、本当に県人会を必要とするのは方角もわからず、これからは淋しさに耐えてゆかねばならぬ県人の人達ではなからうか。

私達東京にいる県人の先人の者がしなればならないものは、これらから育つていく若い県人の人達のバックアップではないか。福井の言葉で話ができる場、そんなオアシスとしての県人会も大切な意味をもつてはいないかと思う。



私が東京に在任する様になつて七年、当初方角も地名もわからず、人に尋ねても不親切で迷つた事も多々あつた。

もし私がだれ一人として話す相手がいなかったら、本当に挫けていたかも知れない。こんな事を思うと、田舎から出て来て孤独に耐えられず、そうかといふに帰れず、一人で淋しく行き場のない思いで生活している人達が東京にはいかに多いことか。

確かに都会で基盤の出来た者同志が集まり、語らひ、情報を交換することも必要である。しかし、都会という中であつて、本当に県人会を必要とするのは方角もわからず、これからは淋しさに耐えてゆかねばならぬ県人の人達ではなからうか。

私達東京にいる県人の先人の者がしなればならないものは、これらから育つていく若い県人の人達のバックアップではないか。福井の言葉で話ができる場、そんなオアシスとしての県人会も大切な意味をもつてはいないかと思う。

前田建設工業株式会社
代表取締役会長 前田又兵衛
代表取締役社長 前田 顯治
〒102 東京都千代田区富士見 2-10-26
電話 03 (265) 5 5 5 1

株式会社 熊谷組
取締役社長 熊谷 太一郎
〒162 東京都新宿区津久戸町 2-1
電話 03 (260) 2 1 1 1

飛鳥建設株式会社
代表取締役会長 飛 島 齊
代表取締役社長 飛 島 章
〒102 東京都千代田区三番町 2
電話 03 (263) 3 1 5 1

盛大に 100周年祝う

武生郷友会が記念大会



東京の大野市出身者でつくる東京大野会(鳥山昇会長)の春の例会Ⅱ写真Ⅱが、このほど開かれ、集まった七十人余りの会員たちは夜遅くまで歓談したり旧交を温めあつた。

東京で学ぶ武生出身の男子学生らの寄宿舎、武生郷友会(新宿区中落合)の創立百周年記念大会が、このほど目白の椿山荘にOBら百人近くが出席して開かれたⅡ写真Ⅱ。

同郷友会は明治二十年に発足当初、神田猿樂町に二十坪足らずの平家を借りて出発、その後何度か移転して大正十一年から今の場所に移つてきた。

その間郷友会から集まったOBは五百五十人に、在京のこの種の郷友会で百年の伝統を持つところには数える程しかない。

大会では、まず長田理事長(藤長電気社長)が郷友会の歴史を受けついできた伝統を紹介し、「郷土出身の若者たちの学ぶ拠点として、次の二百年を目標として守り続けて行こう」とあいさつ。

来賓の笠原武生市長が「郷友会からは、すばらしい先輩方が育つている。東京で活躍するOBの皆さんはぜひ地元と東京を結ぶパイプ役となつていただきたい」と祝辞を述べ、市の近況についても報告した。

相談室 開設など決定

東京敦賀人会が総会



第18回東京敦賀人会総会(西野嘉一郎会長)が、このほど、東京・築地のスエヒロで盛大に開かれたⅡ写真Ⅱ。今回は過去最高の百四十人が参加し、敦賀からは高木市長もかけつけて、古里の思い出話などに花が咲いた。

第十八回の東京敦賀人会(西野嘉一郎会長)総会がこのほど、東京・築地のスエヒロで盛大に開かれたⅡ写真Ⅱ。今回は過去最高の百四十人が参加し、敦賀からは高木市長もかけつけて、古里の思い出話などに花が咲いた。

西野会長が「敦賀出身の人たちがこうやって集まり、語り合えることは、本当にいいものです。健康に気をつけて来年もぜひ参加したいものです」とあいさつ。高木市長からは、敦賀新港、気比神宮、敦賀女子短大など、

古里忘れず頑張ろう!

東京大野会が例会



東京の大野市出身者でつくる東京大野会(鳥山昇会長)の春の例会Ⅱ写真Ⅱが、このほど開かれ、集まった七十人余りの会員たちは夜遅くまで歓談したり旧交を温めあつた。

在京の大野市出身者でつくる東京大野会(鳥山昇会長)の春の例会Ⅱ写真Ⅱが、このほど開かれ、集まった七十人余りの会員たちは夜遅くまで歓談したり旧交を温めあつた。

同大野会に入つている人は現在千九百人にのぼる。午後六時から始まった例会では、まず鳥山昇会長(日東タオル社長)が、「こうやって元気で仕事ができるのも古里大野市のおかげ。これからも郷里を忘れることなく

嶺南出身者同士が 連帯密に発展を

雲城会が総会



嶺南地方出身者でつくる雲城会(丸井会長)の春の例会Ⅱ写真Ⅱが、このほど開かれ、集まった七十人余りの会員たちは夜遅くまで歓談したり旧交を温めあつた。

東京に住む、嶺南地方出身者で組織する雲城会(丸井大睦会長、四百人)の結成七十七周年記念総会が、このほど東京南青山の南青山会館で開かれたⅡ写真Ⅱ。会場には講正学舎の学生六人を含む五十人余りが出席しにぎやかな会合になった。

丸井会長(小浜市出身、目黒信金相談役)が「雲城会がある歴史は、すばらしい伝統がある。今後とも会員相互の連帯を密にして、いっそう発展させて行こう」とあいさつ。会員でもある衆議院議員の辻一彦氏が、国会など

学校創立130周年 で会員に協力 を要請

東京明新会が総会

東京在住の旧福井中学、現在の藤島高校卒業生でつくる東京明新会(天谷直弘会長)が、このほど神宮前の東郷記念館で開かれた。今年、会員数は過去最高の四千四百人となり、今回はうち二百六十人余りが出席した。

総会では、海外出張中の天谷会長に代わつて、中島卓児副会長(判事)があいさつ。荻野昌宏幹事長(飛鳥建設)から会務報告がなされた。福井からかけつた東哲郎校長、高柳小右衛門副会長が新築なつた図書館の現状を報告。今年十周年を迎え十一月五日に記念式典を開くことへの協力などを要請した。

続いて中村栄氏(著述業)が「福井弁で福井弁を語る」と題し

農水省 若越会総会

本県出身、もしくは本県に在職したことのある農林水産省職員、OBで組織する同省若越会(会長鎮西西雄)の総会がこのほど東京・霞が関の霞山ビルに会員ら六十人余りが出席して開かれたⅡ写真Ⅱ。

会長鎮西西雄氏が「会員相互の交流を深め、郷土・福井の発展に微力ながら貢献したい」とあいさつ。

本県出身、もしくは本県に在職したことのある農林水産省職員、OBで組織する同省若越会(会長鎮西西雄)の総会がこのほど東京・霞が関の霞山ビルに会員ら六十人余りが出席して開かれたⅡ写真Ⅱ。

会長鎮西西雄氏が「会員相互の交流を深め、郷土・福井の発展に微力ながら貢献したい」とあいさつ。

福産会が 定期総会

現役員七人を再任

東京に支社、支店を置く本県の企業でつくる東京・福井産業懇話会(幹事長、宇波保雄、福井銀行東京支店長)の本年度定期総会は、このほど八重洲のホテル国際観光で開かれた。役員改選で現役員七人が全員留任したほか、後の懇話会では参加者は社の近況を報告し合うなど、通称「福産会」と呼ばれるこの会は、県の出先である東京事務所を含め計二十三社の代表でつくる親睦を目的とした組織。この日の総会には、計十八社の代表が参加し、懇親し、互いに社の近況などを語り合い、和やかに交流した。なお再任された役員は

▽幹事長 宇波保雄(福井銀行取締役東京支店長)▽副幹事長 菊池智(福井新聞社取締役東京駐在)▽監事 山本辰夫(三谷商事取締役東京支店長)▽幹事 佐々木仁志(河和田屋印刷東京本社常務取締役)三輪幸男(シルバーオプショナル代表取締役社長)蓮川実(県東京事務所長)田中助英(光陽ドラッグチェーン代表取締役社長)

東京明新会・農水省人會・福産会



東京明新会(天谷直弘会長)の春の例会Ⅱ写真Ⅱが、このほど開かれ、集まった七十人余りの会員たちは夜遅くまで歓談したり旧交を温めあつた。

東京地区各会一覽

同じ町や村に生まれ育った人も大変懐かしい。郷土の会の一覽を掲げた。(連絡先は主に、各会長の自宅を掲載させて頂いた)

- 福井県人会 会長 松平 永芳
事務局 03-264-0454
- 大野会 会長 鳥山 昇
事務局 03-591-0271
- 勝山会 事務局 鴨下英主
連絡先 03-993-6551
- 三国会 会長 中村 利信
事務局 03-481-2090
- 鯖江会 会長 軽部弥生一
連絡先 0422-53-7359
- 武生郷友会 会長 長田 長
連絡先 03-361-0105
- 南条郷友会 会長 山根 重次
連絡先 0471-67-2571
- 池田郷友会 会長 平井 満夫
連絡先 0429-62-3091
- 敦賀人會 会長 西野嘉一郎
事務局 03-503-7221
- 若狭雲城会 会長 丸井 大睦
連絡先 03-719-7527

福井紙業株式会社

代表取締役会長 山田 久二
代表取締役社長 椿 原 慶

本社 〒101 東京都千代田区神田神保町2-46
電話 03(265)5941-5

封筒工場 〒174 東京都板橋区東坂下2-11-11
電話 03(966)2968-9

福井出張所 〒915-02 福井県今立郡今立町不老
電話 0978(43)0426

日高カントリークラブ

理事長 高橋 修一

〒104 東京都中央区銀座2-2-4
電話 03(563)2471

宝鏡建物株式会社

会長 宝鏡 晃

〒105 東京都港区西新橋3-16-3
電話 03(431)0911

福井県人



三年前に長年勤めた会社をやめるに当たって経済新聞に自身の退社広告を出して有名になった玉村富男氏(五二)「写真」がこのほど、米国資本のコンピュータのソフトウェア開発、販売を手掛けた日本BMC社(台東区)の社長に就任した。

玉村氏は下中卒業後、一人東京に出て、小山台高校から慶応大法学部へ。昭和二十五年卒業と同時にチェス・マンハッタン銀行に入ったが、翌年、日本IBMに転身。営業で三つ腕ぶりを発揮し、業界内でも名は知れ渡っていた。ところが営業担当総括部長職にあつた三十年、突然辞表を出し退社した。

その時出したのが新聞での七段退職広告。大空に飛び立つ野鴨(がも)「羽」のタイトルで顔写真、新たに作った会社名などで週刊誌に取り上げられるなど「有名」人となった。だが、新会



玉村 富男氏 (大野市出身) 米資本の社長に就任

社は振るわず、こしばらく表舞台からは遠ざかっていた。最近かつてのIBM時代の友人で、アメリカ・テキサスに本社をおくMBC社へ。そしてこのほど同社の全額出資で日本BMC社(資本金二千万円)の代表取締役社長に就任した。

その営業方法がまたユニーク。社長を含む五人の社員は、全員個室で電話だけで売り込む「テレレマーケティング」技術で、市場開拓を行うという。日本では初の試み。玉村社長は「うちの商品はIBMのコンピュータを入れていける大手企業が売れ込み先ですから、営業は案外楽です。話の届いては極東エリアをカバーする代表になるつもりです。テレビでは連日老いた人生のあり方を暗示するような番組が多いが、私はこれから続くだろうし、又続けたいものであると、再確認するようないきなり思いでもありません。

歌老の日に近い日曜日の朝、東京は昨夜来の雨が残り肌寒い。私は秋の日展出品作に夢中であるが気分転換の気持ちもあって、お盆頃から腰を痛め歩くのも不自由だったが漸くゆつたりと歩けるようになった。ふり外での朝食である。広い店内には初老の二人連れが三組、あとも一人で席する人が三人、日曜日も今朝は静かでした。暖かい空気が初秋の風情を一層かきたる。テレビでは連日老いた人生のあり方を暗示するような番組が多いが、私はこれから続くだろうし、又続けたいものであると、再確認するようないきなり思いでもありません。

去る八月に水産庁振興部長に就任したのを機会に我が国水産業の現状と施策の展開方向を紹介してみたい。

我が国は世界一の水産国であり、漁獲量は一、二〇〇万トンにも及び世界全体の約七分の一を占めている。これを漁業部門別にみると、二〇〇〇カイル体制の定着に伴って遠洋漁業が大幅に減少し、沖合漁業が伸長している。魚種別には、いわし類が大きく増加していること、すけとうだらが四〇年代後半に比べ大きく減少していることが特徴的である。

切りになつて自分の人生を、自分の時間をフルに使いたいものだと思つたりもしたが、相手が体調を悪くしたり、又自分の体の具合が思われない時にはやはり二人で生きて来てよかったとつくづく思うものである。夫婦とは都合のよいものどころか、夫婦とは長い友良きにして悪しきにして共に耐えて生活して来たその歴史が何よりの宝である。心を支え合つて生きていくのも増えたいと思ふ。でもそのすべてが家族への生活を支えたいものであると思ふ。二人が支え合つてこれからはさるであろう老後を思う時、何故か家族から解放され、自由に暮らすような思いでもありません。

福田一議員の健康法 週刊誌が秘けつ紹介

自民党最高顧問時必ず持参してましてね。これ何と何と何とね。おかげが、実に体調はいいね。という。

同議員は今でも衆院議員会館では四階の事務所まで、エレベーターは使わず階段を必ず歩く。食事もし母の時に母親から「好き嫌いをしてはいけない」と言われて以来、それを守り、出されたものを今でも残さない。酒はほとんど口をやめてからは、八十本のたばこをやめてからは、本当に体の調子がいいらしい。仕事をきかんとこなすには体が基本だからね」と話している。

山之内三紀子弁護士が御結婚

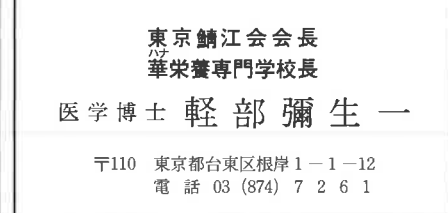
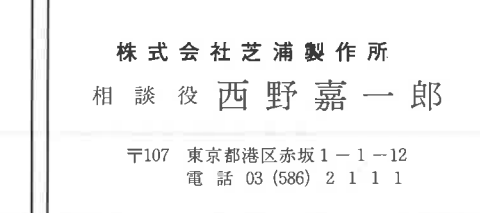
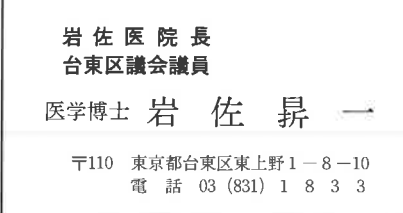
当県人会でも、美人のほまれ高い弁護士山之内三紀子氏がこのほど御結婚。帝国ホテルにて挙式をあげた。御主人も弁護士。当日は、松平水芳会長も主賓として出席、県人会で、青年部の活躍、現在副理事長、されてのことなどを絶賛された。青

福井市の出身から、一時は金融機関などに勤めることも考えたが「人と同じ道は歩みたくない」という反骨精神から、大学卒業後東宝へ入社。青春ものを中心にこれまで十一本の作品を監督してこられた。今回の作品の仮タイトルは「BIG RUN(大いなる逃亡)」だそうで、二週間わたる自動車レースをベースに、男らしい日本男性とタフで魅力的なオーストラリア女性、さらに日本とオーストラリア男性の厚い友情を軸に物語が展開する内容。年内いっぱい現地で撮影を続ける。

岩佐医院長
台東区議会議員
医学博士 岩佐 昇 一
〒110 東京都台東区東上野1-8-10
電話 03(831)1833

株式会社芝浦製作所
相談役 西野嘉一郎
〒107 東京都港区赤坂1-1-12
電話 03(586)2111

東京鯖江会会長
華栄養専門学校長
医学博士 軽部 彌生 一
〒110 東京都台東区根岸1-1-12
電話 03(874)7261



日曜日の朝

歌老の日に近い日曜日の朝、東京は昨夜来の雨が残り肌寒い。私は秋の日展出品作に夢中であるが気分転換の気持ちもあって、お盆頃から腰を痛め歩くのも不自由だったが漸くゆつたりと歩けるようになった。ふり外での朝食である。広い店内には初老の二人連れが三組、あとも一人で席する人が三人、日曜日も今朝は静かでした。暖かい空気が初秋の風情を一層かきたる。テレビでは連日老いた人生のあり方を暗示するような番組が多いが、私はこれから続くだろうし、又続けたいものであると、再確認するようないきなり思いでもありません。

つくり育てる 漁業を推進

去る八月に水産庁振興部長に就任したのを機会に我が国水産業の現状と施策の展開方向を紹介してみたい。

我が国は世界一の水産国であり、漁獲量は一、二〇〇万トンにも及び世界全体の約七分の一を占めている。これを漁業部門別にみると、二〇〇〇カイル体制の定着に伴って遠洋漁業が大幅に減少し、沖合漁業が伸長している。魚種別には、いわし類が大きく増加していること、すけとうだらが四〇年代後半に比べ大きく減少していることが特徴的である。

水産物の輸入は、えび、まぐろ、さけ、ます等の輸入増加により、量、金額とも近年大きく伸びており、我が国は、五七年に米国を抜いて以来世界一の水産物輸入国となっている。

我が国の二〇〇〇カイル内面積は、四五二万平方キロ(国土面積の約二倍)であり、狭い国土、乏しい資源の我が国にとつて、海の豊かな資源の培養と高度利用の必要性は高く、二〇〇〇カイル体制の定着に伴い、海外漁場の利用条件が厳しさを増している状況にあつてその重要性はますます強くなってきている。水産庁としては、振興部が中心となつて「つくり育てる漁業」を積極的に推進しているところである。

映画監督 河崎氏 日豪合作映画を担当

福井市の出身から、一時は金融機関などに勤めることも考えたが「人と同じ道は歩みたくない」という反骨精神から、大学卒業後東宝へ入社。青春ものを中心にこれまで十一本の作品を監督してこられた。今回の作品の仮タイトルは「BIG RUN(大いなる逃亡)」だそうで、二週間わたる自動車レースをベースに、男らしい日本男性とタフで魅力的なオーストラリア女性、さらに日本とオーストラリア男性の厚い友情を軸に物語が展開する内容。年内いっぱい現地で撮影を続ける。

福井市の出身から、一時は金融機関などに勤めることも考えたが「人と同じ道は歩みたくない」という反骨精神から、大学卒業後東宝へ入社。青春ものを中心にこれまで十一本の作品を監督してこられた。今回の作品の仮タイトルは「BIG RUN(大いなる逃亡)」だそうで、二週間わたる自動車レースをベースに、男らしい日本男性とタフで魅力的なオーストラリア女性、さらに日本とオーストラリア男性の厚い友情を軸に物語が展開する内容。年内いっぱい現地で撮影を続ける。

活躍するわれ



本県出身の元社長 土地売り8億円寄附

渋谷区恵比寿二の三五の六に
住む高村藤久馬(とくま)さん
八〇才が本年五月「身体の不
由なる人の福祉に役立てて」と八
億円を地元渋谷区に寄附した。
渋谷区への現金による寄附とし
ては「おそらく過去最高(同区)
の金額に区側はびっくり」。



高村さんは福井県出身。父親
が経営していた織物工場が倒産
した。昭和七年に設立した建材
会社を五十年間にわたり経営
してきたが、数年前から体力の
衰えを感じ始め六十一歳十月に
廃業した。
今回寄附したのは、JR恵比
寿駅から約二百メートルの一等
地にある会社の敷地二百九十平
方メートルの半分を処分して得
た約十三億五千万円から税金を
差し引いた分。高村さんには息
子が二人いるが、二人とも会社
を継ぐ意思がなかった。土地
を処分することにしよう。
天野房三区長に八億円の小切
手を手渡した高村さんは「ここ
までやってこれたのは皆さんの
おかげ。世の中に世話になっ
たことへの恩返しに身体の不
由なる人たちのために役立てて
ほしい。お金はこれから生きてい
くの必要が分が少しあれば十
分」と話していた。

ふるさと福井を語る

本県出身の著名人8人



雑誌「東京人」都市出版株式
会社出版は、このほど、東京
築地のスエヒロに、各界の一線
で活躍する本県出身者を集めて
懇談会「写真」を開いた。この
時の模様は五月一日発売の同誌
に掲載された。
集まった本県出身者は、映画
監督の吉田喜重氏、アニメ作家
の久里洋二氏、朝岡香辛料社長
の朝岡勇氏、作家の津村節子さ
ん、弁護士の上之内三紀子、画
家の加藤直子さん、女優の峰さ
ゆきさんの七人。

税調わかりやすく 小倉会長「問答」して出版



武生市出身で、政府税制調査
会長として大活躍の小倉武一さ
ん「写真」が「税政問答」三問
「農文協」として本を著した。
(電 五八五一—一四一)
税制改革は今臨時国会に提案
され、本格的な論議に入っ
た。小倉さんは、税制改革には一貫
して携わってきた。四十九年十
月から政府税制調査会長を引き
受けて、大平内閣当分の一般消
費税、昨年中曾根内閣当分の
売上税などいづれも政府の諮問
センター会長。

浅野氏(越廼村出身) 「横浜博」をPR



来年三月二十五日から十月一
日まで横浜市のみならず、21
地区で開かれる「横浜博覧会」
財団法人「横浜博覧会」横濱市
神奈川県、みなとみらい21社、
横浜商工会議所が主催するも
の、最近の博覧会ブームの中
でも、ビッグイベント。その協
会の事務次長・総務担当が越廼
村出身の浅野俊博さん「写真」
横浜市企画財政局部長から同
協会に出向準備とPRに精力

的に動き回っており、このほど
出身地の福井県に足を運び、福
井市役所や旅行代理店に出向き
浅野さんは、小浜水産高から
明治大に進み、昭和二十七年横
濱市に就職。職場に水産関係は
なかったが、ビッグイベントの
博覧会と出合い、五年前から準
備に入った。協会の総務担当次
長で、博覧会運営の中心的存在
一方、同協会の催事部長は、
野市出身の田中昭一さんが務め、
本県出身の二人が、横浜博を支
えている。

五木ひろし「五木茶屋」 東京四谷でビル建設



和由布子と結婚した五木ひろ
しさん(四〇)は甘味喫茶と京
本ブランドのグッズを売る「五
木茶屋」をオープン。巨額の「五
木」を売った。

更に、このたび四谷に五階建
のビルを建設中。こちらは一階
はブティック、二階は五木のフ
ァンクラブ、三階はスタジオ、
四階は五木プロとニュークリ
クレコード、五階は五木プロ社
長の松山弘志が理事を務める財
団法人「国際親善協会」が入居
する。

「いよいよ実業界へ進出、レ
コード会社の先輩の〃〃昌夫に
追いつけです」と関係者の
鼻息も荒く、月の売り上げ二
千五百万円、年商で三億円を見
込んでいたとか。昨年の五木グ
ループの年商は二十億円近くだ
が、そのほとんどが五木ひとり
の稼ぎによるもの。

「五木も四十才、これまでの
ように年間二百日の営業はこな
せなくなるし、結婚して離れる
ファンもいるだろうし、五木の
負担を少しでも減らそうとい
うことでしよう」(プロダクショ
ン関係者)

そのため、副業に本腰を入れ
るわけである。(日刊ゲンダイ)

福井県と知的所有権

(弁理士、佐々木内外国所長)
特許商標事務所
佐々木 功
(大野市)



知的所有権は、もとより動産即ち有
体財産権に對し、無体財産権な
る概念が広まり、この無体財産
権という表現より、知的な財産
権といった方が、大変知的であ
ると考へて、知的財産権とい
言葉が通るも良く、広く使われ
たものである。

著作権や特許等の工業所有権
のことがひびくため、広く知
的財産権といっている。この知
的財産権のうち、とりわけ、日
米間で昨今、話題の中心となっ
ているのが、特許権、実用新案
権、意匠権、商標権の四種の総
称の工業所有権である。

私の仕事はこの知的所有権の
うちで最も工業的分野の中心を
占める工業所有権の取得や、そ
の権利にまつわる仕事で専門の
仕事である。もちろん世界各国
の権利の取得や保全に関する仕
事も含むものである。

工業所有権の出願に限ってだ
け、福井県の状況を見てみると
社長が、人口の比率からみて一
番多い県といわれているもの
工業所有権の分野に関しては一
番多い県とはとうていいえない。
昭和六十三年五月発行の特許
庁年報をみると、我が福井県の
特許の出願は、二二二件で、東
京都の十五万五千〇二〇〇程度
であり、長野県や山梨県の半分
程度に満たないところであり、工
業国日本の立場からみると、完
全に、福井県は「工業県」とい
うには程遠いといえる。

出願件数が多いことで「能
があるわけではないが、一つの
統計から判断して、我が愛する
福井県のあり方が考えさせられ
る数字である。私の仕事の知的
所有権に従事する立場からいつ
てもっとも、福井県が知
的所有権に關しても、先進県
であって欲しいと思わずにはい
られない。

クラウンエース株式会社
朝岡香辛料株式会社
代表取締役社長 朝岡 勇
〒174 東京都板橋区東坂下2-13-16
電話 03 (969) 5 1 0 6

佐々木内外国特許商標事務所
弁理士 佐々木 功
〒105 東京都港区虎の門1-11-7
第2文成ビル
電話 03 (591) 0 2 7 1 (代)

株式会社
東京鉄骨橋梁製作所
取締役相談役 伊代良孝
〒108 東京都港区芝浦4-6-32
電話 03 (451) 1 1 4 1

県人会と私

三菱地所顧問 酒井俊 (三国町)

福井県人会との御縁の始まりは昭和九年末のことでした。県御出身の岡田啓介海軍大將が、陛下の御指名により内閣を組織されて間もなく、私達福井県出身の法政部学生が県出身の先輩の方々の導きにより総理大臣官邸に招かれたのです。その折の記念写真(別掲)を見ると、岡田総理を中にしてお隣りに松平慶民子爵(松平永芳会長の御父君) 添田敬一郎氏(当時文部政務次官)が、おられ、わかれ青二才は最前列に肩を怒らせていました。

戦後になり、わが社の法律顧問もされておられた木内富雄先生が県人会長になられてからは先生を介して、ふだんお目にかれない多くの先輩後輩の方々とお近づきになることができてきました。私にとってこの上なく貴重な財産です。



左松平慶民子爵(松平永芳会長の御父君)、右添田敬一郎氏(当時文部政務次官)、中央前部岡田啓介氏(海軍大臣)

「人生到る処青山あり」と郷土を後にした若者にとって、袴を脱いで木音で話しあえる時と場所は明日への飛躍を願う若者にとって、垣根をとり払って語りあえる絶好の場として望まれるのではないのでしょうか。若者の心ふるさとのことになりたくはぬのです。

ら福井県人



受章ひとこと

東大名誉教授 石橋多聞 (武生市)

本年春季の叙勲に際して、勲二等瑞宝章を授けられる光栄に浴しました。破格の高い勲章を受け感激もひとしおであります。これも県民の皆様への御支援の賜物と厚く御礼を申し上げます。

私は福井市水道局にて下水道事業にたずさわったのを始めに、その後厚生省にて水道行政を担当し、更に東京大学工学部都市工学科、山梨大学環境整備工学科にて衛生工学の教授を務めました。また国際水道協会々長を二年間つとめました。

このような業績が評価されたのだと思いますが、多くの先輩と同僚、後輩の協力があって、後述の御難題の程をお願い申上げます。



神原任先生 との出会い

神原記念病院監理部長 田辺勇 (三国町)

日曜、祭日、祝日を問わず、救急治療を要する患者がある限り絶対に断わらず必ず入院出来ること、治療はすべて健康保険で行なうこと。現在考へられる最高水準の診断治療の諸設備を私の夢が実現したのは、各方面からの熱烈な後援によって器械その他の寄付を受けたからであつた。救急手術を要する患者があつた夜中に手術を受けようとするときは、患者へ難かっただけに私は嬉しかつた。これは福井が生んだ心臓外科の世界的泰斗神原任博士の死の直前残した手記の冒頭の二行である。昭和三十九年福井銀行が東京支店開設の時、私が初代支店長として赴任したとき、

郷里

山中幸子 (織田町)

「鬼道し彼の山、小舫つりし彼の川、夢も今夕の幼き頃おすぎんが去り、今なほ心に郷里を懐しく思ふものでございます。併し今をさきまのころよりまして、併し父が当時海外に渡り、朝鮮で憲兵の職務に更に台北で台北高等警察署勤務故、私は台北生れで育ちました記憶がございます。其の頃は村でございまして、戦中、戦後派故、まぎしい教育と共に封建的青春時代を過ごし、我が郷里、織田町には、織田信長の祖先越前の國織田の庄に鎮座する。越前の二宮、織田明神の神宮で、信長公は祖先発祥ゆかりの氏神として崇敬し、光仁天皇が奇遷された神護景雲四年九月十一日(七〇年)銘の国宝神鏡は、悠久なる音色と響きを今に伝えています。此の由緒を今に伝えている明神と響きは、古い歴史と伝統を持ち、豊作に限らず行はれる「お祭り」と云ふ神事があります。御神社は春夏秋冬の祭例年年初方々が、無病息災、諸々の祈願に見えており、霊験あらたかなる故に隆盛を極め、現今に至つております。ご存知の「明神」は、S四十五年NHKに於ける里の歌から、全国に紹介されてきた一躍脚光を浴び、翌年四月福井県民俗無形文化財の指定を受けています。片田舎の織田町が東京に在任者いたしましたは喜ばしい一言に過ぎません。毎年夏に帰省いたしました空朝露ふみし心行き交ふ人々に、ご挨拶して身共にしさわやかに、まして夕陽の西に傾く頃、山波に映えわたる風景年輪の尊さにつきましては、古くは、織田庄の大部分が神領で門前も栄え、織田氏発祥の地として崇拝された。



郷土料理 みくくに 代表取締役社長 中村秀子

〒162 東京都新宿区市ヶ谷八幡町8
シャープ東京ビルB1
電話 03 (268) 2 6 3 2
FAX 03 (268) 2 6 2 9

知事の要望と私の職業

石橋技術士事務所所長 石橋重遠 (武生市)

本会報第2号で新知事のあいさつに「県の活性化とたくましい産業の育成、ハイテクの技術の開発など」を要望しておられた。私は日立に30年、工業大学の教授10年余、技術士活動を20年余実践経験した。戦前は能率運動(テーラシステム、これは今も世界各国が採用している)終戦に近い頃はその改善である生産技術の改善運動(海軍工廠の技術指導を受けた)。戦後は日本の品質管理(TQC)の技術指導をいただいた。戦後は日本は何故、世界の製品を作れるようになったか。それはTQCの爲であった。世界中から修得の爲に日米研修、毎週どこかの国から研修団が来日している。日本に学ぶの論議が、戦後米人が日本に教えたのに、何故米人に出来ないかの論議が強い。

剣神社



古くは、織田庄の大部分が神領で門前も栄え、織田氏発祥の地として崇拝された。

「鬼道し彼の山、小舫つりし彼の川、夢も今夕の幼き頃おすぎんが去り、今なほ心に郷里を懐しく思ふものでございます。併し今をさきまのころよりまして、併し父が当時海外に渡り、朝鮮で憲兵の職務に更に台北で台北高等警察署勤務故、私は台北生れで育ちました記憶がございます。其の頃は村でございまして、戦中、戦後派故、まぎしい教育と共に封建的青春時代を過ごし、我が郷里、織田町には、織田信長の祖先越前の國織田の庄に鎮座する。越前の二宮、織田明神の神宮で、信長公は祖先発祥ゆかりの氏神として崇敬し、光仁天皇が奇遷された神護景雲四年九月十一日(七〇年)銘の国宝神鏡は、悠久なる音色と響きを今に伝えています。此の由緒を今に伝えている明神と響きは、古い歴史と伝統を持ち、豊作に限らず行はれる「お祭り」と云ふ神事があります。御神社は春夏秋冬の祭例年年初方々が、無病息災、諸々の祈願に見えており、霊験あらたかなる故に隆盛を極め、現今に至つております。ご存知の「明神」は、S四十五年NHKに於ける里の歌から、全国に紹介されてきた一躍脚光を浴び、翌年四月福井県民俗無形文化財の指定を受けています。片田舎の織田町が東京に在任者いたしましたは喜ばしい一言に過ぎません。毎年夏に帰省いたしました空朝露ふみし心行き交ふ人々に、ご挨拶して身共にしさわやかに、まして夕陽の西に傾く頃、山波に映えわたる風景年輪の尊さにつきましては、古くは、織田庄の大部分が神領で門前も栄え、織田氏発祥の地として崇拝された。

スエヒロ食品株式会社 代表取締役社長 石原雅晴

〒104 東京都中央区銀座6-11-2
電話 03 (571) 8 3 4 6

株式会社 つぎち・田村 社長 田村平治

〒104 東京都中央区築地2-12-11
電話 03 (541) 2 5 9 1

活躍するわれ



福井県の発展を 祈念して 須知 邦武

(元福井県副知事)

「光陰矢の如し」とやら、月日の経つのは速いものである。吾が人生も、七〇才の高齢を迎え、一度吾が人生を顧る、人生総決算の時期に来たことを感じている。奇しくも、この時期に思いもかけず、等旭日中経章の栄に浴し、身の幸せをしみじみと感じている。私は地域社会の為に何等の御役にたてていないのに、地方自治功労者として過分の勲章拝受の栄に浴し恐縮のいたりである。これ一偏に、吾が第二の古里として、十年余に渡る、幸々な生活を過ごさせて頂いた、福井県民の皆様方の心暖い、一方ならぬ御支援、御指導のお陰と身に

僕のふるさと



日本オートマトン(株)
代表取締役専務
杉森 武夫
(織田町)

僕は丹生郡織田町上戸にある父の生家で生まれました。その家には今も従兄の杉森静馬が住んでいます。生れた時死にかかっていたと、医者さみみせてもなおらないから、ほっとけ」との声が強かつたそうだが、母が、そして父も僕を背負って遠くの医者まで、一生懸命通ってくれたとのことだ。

ふるさとの砂浜

辻下 三雄(三方町)

十数年ぶりに春の県人会総会に出席致しました。報告及び審議事項が終了、前日経連専務理事の松崎先生の特別講演がありました。その講演の内容ですが、明治維新から日露戦争終結までの四十年間、戦後軍国主義一べんの大東亜戦争敗戦までの四十年間を経済大国に至るまでの四十年間を経済大国になった日本の現状を話され、これからの四

近藤勝さんの思い出

山根 重次

近藤勝さんは郷土愛のかたまりのような方でした。福井県人会の副理事長として、勝山会長のとして、また郷土出身の力士を後援されるとか、御熱心で立派な方でした。

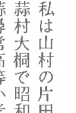


私の「東京生活」

税理士 木村 まり子(今立町)

東京の生き苦しい夏が終り、虫のかすかな鳴き声が聞こえ、朝のひんやりとした涼風に会う。となぜか福井の田舎が懐かしくなります。日向臭い稲穂、秋祭りのタイコや笛の音、真赤に熟した柿をたわわに下げた柿の木、住いの裏手の山々の紅葉。大学の生かすために上京してから二十二年の歳月が流れました。上京した当時は、見るもの、聞くもの、経験することが全て新鮮でこんなにはすばらしい世界があつたのだと思つたものです。しかし、結婚、子育てでの生活が

私の歩んだ道



エステー興業株式会社
代表取締役社長
木村 静(今立町)

私は山村の片田舎、旧南条郡鹿茸村大洞で昭和初期に生まれ鹿茸尋常高等小學校に入学。大東亜戦争突入と同時に鹿茸国民學校と改名され、現在は今庄小學校に合併。冬期の通学は約二キロメートルで、近年とは速い山間部独特の大変苦勞した日々を今に忘れることができない。進学は両親、叔父に勧められやむをえず県立敦賀中を受験し、辛うじて入学出来た喜びが今高頭の片隅に残っている。汽車通学で大洞駅(北陸トンネル開通と同時に廃駅)から敦賀駅の間はなんとトンネル約三キロ、所要時間一時間を要し、又駅から先輩に引率され、約三十分余りかかる海辺に近い松原の中に学校があつた。幸い海水浴は楽しかったと思ふ。中学三年の時、戦争が一段と激しくなり、先輩が小松製作所、吾々も東洋紡績へ学徒動員を余儀なくされ、三交代替制で働かざるを得なかつた。不幸にして敦賀

氣比神宮の大鳥居



日本三大鳥居の一つで重要文化財に指定されている。

足を運び、何んとか苦勞しながら卒業を迎えることが出来た。出来の悪い自分としては、中高大の内、大学の成績が一番良かったのも両親叔父のお陰だといつも感謝している。

株式会社 日刊福井
本社 〒910 福井市問屋町1-251
電話 0776 (27) 2111
東京支社 〒104 東京都中央区銀座3-14-9
(第2厚生館別館)
電話 03 (543) 4399(代)

福井テレビ
本社 〒910 福井市問屋町3-410
電話 0776 (21) 2233
東京支社 〒104 東京都中央区銀座3-14-13
(第一厚生館)
電話 03 (543) 7563(代)

株式会社 福井新聞社
本社 〒910 福井市春山1-1-14
電話 0776 (23) 5111(代)
東京支社 〒104 東京都中央区銀座5-10-9
(戸塚ビル)
電話 03 (571) 2918(代)

北陸新幹線 高崎—長野—長野ま 来年度着工

順位原案

- ②金沢—高岡
- ③盛岡—青森
- ④八代—西鹿兒島
- ⑤魚津—糸魚川



整備新幹線の着工優先順位について政府・自民は、北陸新幹線の高崎—長野間を最優先区間として六十四年度に着工する方針が固まった。このほか、①高崎—長野間に続く順位は、②北陸—金沢—高岡間、③東北—盛岡—青森間の九州—八代—西鹿兒島間、④北陸—魚津—糸魚川間とする。ただし、この順位は今後の経済社会情勢の変化を考慮、五年後に見直す。着工の具体的な手順、方針は、財源問題や並行在来線の廃止問題などに配慮して、今年末までに結論を得るなどの原案をもとに調整がすすめられた。六十四年度の着工が固まった。

北陸新幹線の高崎—長野間のうち、高崎—軽井沢間は従来形の新幹線になる。また軽井沢—長野間は事実上在来線を利用した「ミニ新幹線」を走らせる方式となりそうである。(朝日)

北陸新幹線は現在、南越前までの環境アセス案縦覧が行われているが、この中で鉄道公団は、三時間二十一分としているが、現行東海道新幹線を使った場合は、最短で三時間四十分となっており北陸新幹線が開業しても福井—東京間の時間短縮効果はわずかに二十分と予想以上に小さいことになる。(福井)

ふるさとの建 (2)

よみがえる幻の建築 三国郷土資料館



福井あるいは芦原の方から三國に入っていくと白っぽい洋風の大きな建物が目につく。今や三國のシンボルとなっている建物。この資料館は、三國が北前船の出入り口として最も繁栄した明治の初め河口の小高い丘の上に建てられた龍翔小学校を模してつくられたもので、オランダ人の設計で、五階建、八角形の奇抜な建物。

館内に入ると三國のすべてがわかる。一階中央に据えられた千石船五分の一の模型、二階祭壇に曳かれる七メートルの人形をのせた山車、遊女の打掛など、往時の三國をしのぶたくさんの資料が並んでいく。(観光パンフレットより抜粋)

武生の劇団たけぶえ 東京演劇祭に参加

文化庁が主催する第四回地域劇団東京演劇祭に、武生市の劇団たけぶえ(柴野千栄子代表)が招かれ、十月十一日から三日間文京区の「三百人劇場」で公演した。

演劇祭は、地域文化の活性化と地方での演劇活動の高揚を図ろうと、六十年から文化庁芸術祭主催公演として行われており、芸術祭参加作品の対象となり、県内からの参加は初めて。たけぶえは、昨年オランダで開いた国際アマチュア演劇フェスティバルで上演して大好評だった「水仙」を公演した。「水仙」は越前海岸の伝説と能の「求塚」を題材にしたもので、宋の国から漂着した女性をめぐる物語。



ふるさとの本 (3)

福井の21世紀を拓く

著者は三六才の現職の県会議員で将来は国政へ参加を望んでいてある。あながきの中で著者は「21世紀を目前にして、激しい変革の波に洗われており、大胆な発想と実行が必要である。新しい時代に適応し従来型の型を破った、斬新なアイデアを取り入れていくことが必要である」と語り、「ふるさと創生の命運」を左右すると語っている。ふるさと創生にかけるといふ、目次の中には福井と関西の今後の活躍を祈りたい。

県土改造論 山本 拓著
発行 文明堂書店

中野重治の記念館完成

丸岡町出身のプロレタリア文壇の巨匠、中野重治(一九〇二—一九七九)が生前東京で使っていた書齋をそっくり郷土の生家跡に移築する工事が出来上り、同日一本田の現地で完成式が行われた。書齋は原形のまま一部を補修して復元され、生家跡の庭園、生け垣、屋敷跡など周辺の装いも整えられた。丸岡町は中野重治記念館として町の新しい文化遺産にし、町民図書館の記念文庫と併せて活用させる計画で、中野重治の人と文学を慕う全国のファンから親しまれようである。



新入会員紹介

- 橋本 政宣(鯖江市) 東大助教
- 堀田 清(大野市) 東京商工
- 岡山 英弘(鯖江市) 会談所
- 長谷川 武夫(松岡町) 豊国建設
- 森 浩治(勝山市) 三井生命
- 木村まり子(今立町) 税理士
- 松原 正充(小浜市) 三菱商事
- 鎮西 迪雄(大野市) 農林水産
- 竹田 一男(宮原町) 三菱地所
- 山口 修(武生市) システム
- 坪田 浩勝(春江町) 東京山手
- 西尾 量恵(大野市) 僧侶
- 小川 賢一(福井市) 小川印刷
- 高橋 敏彦(鯖江市) 協同リ
- 宮崎 初次(福井市) ス
- 川口 昌雄(小浜市) 警視庁

編集後記

△冷夏、残暑、台風等大変過ぎ辛い御多忙の折柄、貴重なる玉稿を御執筆併せて広告掲載の御協力を頂いた関係者の皆さんに心から御礼を申し上げます。

△東京福井県人会は、本年秋九十周年を迎えた。鎌倉理事長の「県人会発足と経過」は大変興味深い。幸い「青年部」の発足により本会も、活性化進行中であり大変頼もしい。

△武生郷友会は、一〇〇周年を迎え椿山荘で盛大なパーティが行われた。敦賀入会、雲城会、大野会等の地域出身者の会、進和会、明新会等出身者の会、若越会、厚生省会等中央官庁の会なども年々盛んになっている。今後は福井人との定期的な交流が望まれるし、本会と当会報も主要な役割を果たしたい。

△北陸新幹線の開通後、東京との距離短縮は約二十分だという。整備新幹線もさることながら早急に望みたいのは在来線(米原、福井)のサービシ化(車両の改善等)が急務であろう。

服飾資材総合卸
株式会社 テラキ

代表取締役 **寺木 伝**

本社 東京都台東区浅草橋三丁目六番三号
電話 〇三(八〇)五五五六代表
大阪営業所 大阪市西区靱本町三丁目二十八番地
中野ビル二〇一号
電話 〇六(四四三)三〇五五番

河和田屋印刷株式会社
東京本社

東京都新宿区高田馬場一六一五
電話 〇三(二〇〇)七七七七番
福井市春日三丁目六二〇番地
電話 〇七六(五三三)三三三番
鯖江市神明町一丁目五番二二番
電話 〇七七八(五二一)〇二九番
神明支店

新規墓所申込受付中
見学自由

築地本願寺西多摩霊園

〒104 東京都中央区築地二一五一一
電話 〇三(五四三)三三三〇一
〒107 東京都秋叶区養生七二一六
電話 〇四二五(五八)七七三二

(霊園所在地)

福井銀行東京事務所

〒104 東京都中央区京橋二一〇一六
電話 〇三(二七)〇五〇一六

福井銀行東京支店

〒104 東京都中央区京橋二一〇一六
電話 〇三(二七)〇五〇一六

福井銀行新宿支店

〒160 東京都新宿区西新宿一六六一
電話 〇三(三四六)〇一九一